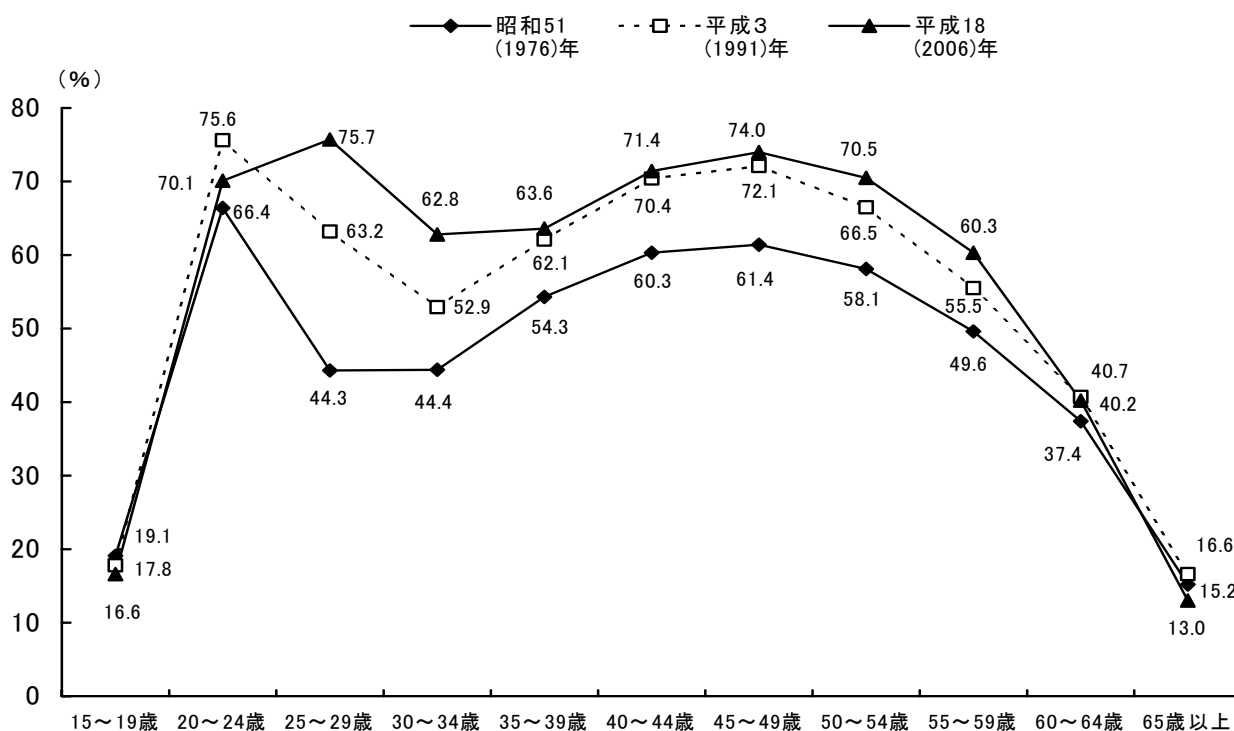


I - (2) 働く女性の現状

1 女性の年齢階級別労働力人口比率

昭和51年の女性の年齢階級別労働力人口比率は、25歳から29歳に大きく低下するM字カーブを描いている。平成3年、平成18年には、30歳から34歳に最も低下するM字カーブを描き、M字の底の部分の年齢階級は、昭和51年に比べ、高くなってきている。

図表 I - 2 - 1 女性の年齢階級別労働力人口比率(全国)



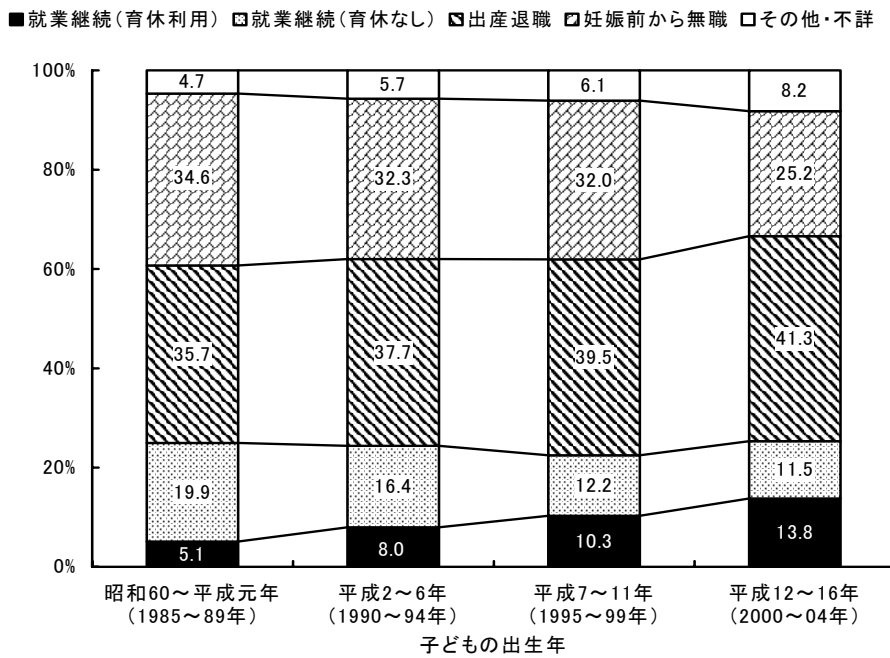
資料：総務省「労働力調査」

働く女性の現状

2 子どもの出生年別、第一子出産後の就業経歴

第一子出産後の就業を継続した妻の割合は 25%前後で大きく変化していないが、そのうち、育児休業制度を利用した妻の割合は増加している。

図表 I-2-2 子どもの出生年別、第一子出産前後の母親の就業経歴(全国)



注：1歳以上の子を持つ初婚どうし夫婦について調査、第12～13回調査（平成14年、17年）を合わせて集計  
 出産前後の就業経歴：

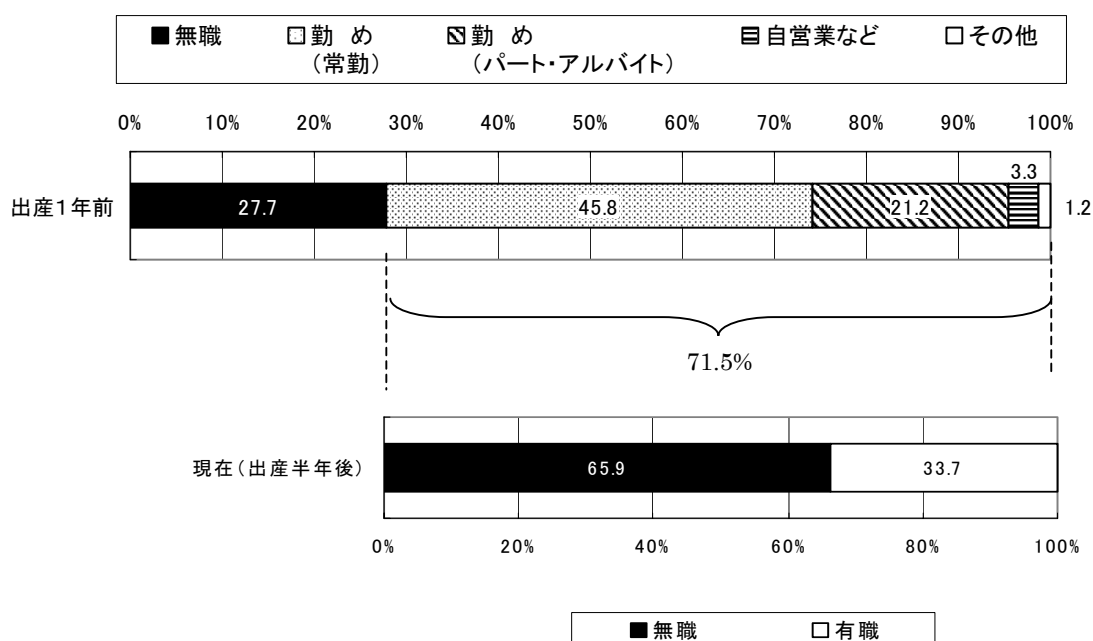
- 就業継続（育休利用）－第1子妊娠前就業～育児休業取得～第1子1歳時就業
- 就業継続（育休なし）－第1子妊娠前就業～育児休業なし～第1子1歳時就業
- 出産退職－第1子妊娠前就業～第1子1歳時無職
- 妊娠前から無職－第1子妊娠前無職～第1子1歳時無職

資料：国立社会保障・人口問題研究所「第13回出生動向基本調査」平成17年(2005年)

## 3 きょうだい数1人（第1子出産の場合）の母親の就業状況

出産1年前において、常勤、パート・アルバイトなど就業している母親は71.5%であるが、出産半年後には、そのうちの65.9%は無職となっている。

図表 I-2-3 きょうだい数1人の母親の就業状況の変化(都)



注1: 調査時現在、子が母と同居している場合のみ集計。

注2: 総数 2,120人

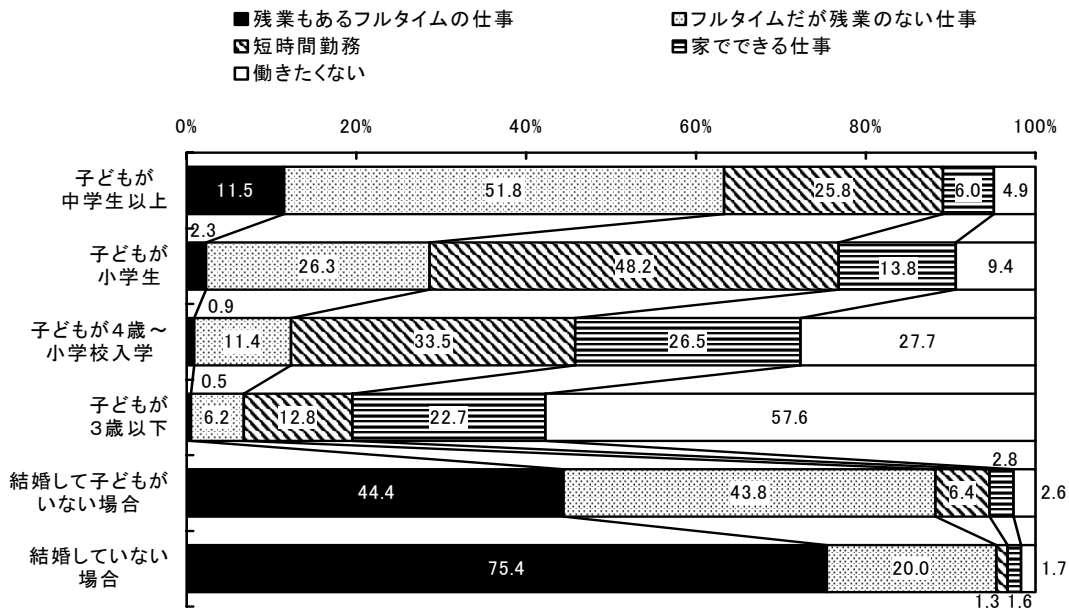
資料: 東京都産業労働局「平成14年度東京都男女雇用平等参画状況調査結果報告書」

働く女性の現状

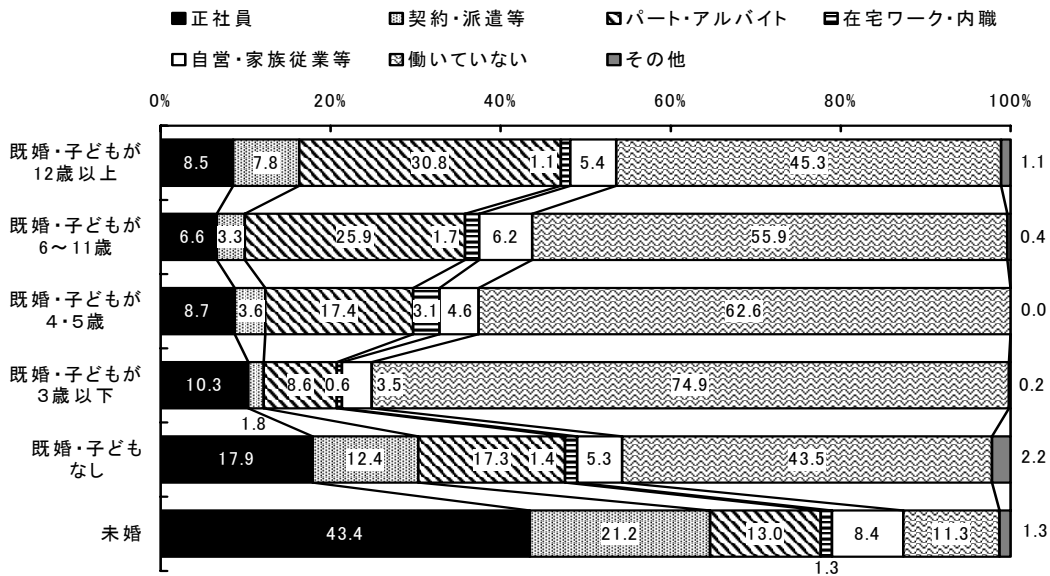
4 女性のライフステージの変化に応じた働き方の希望と現実

結婚をしていない場合、結婚して子どもがいない場合は、「フルタイム」を希望する割合が高く、「子どもが3歳以下」では、「働きたくない」を希望する割合が高くなる。子どもが4歳を超えると、働きたくないを希望する割合が少なくなっている。

図表 I-2-4 理想の働き方(全国)



図表 I-2-5 現実の働き方(全国)



注1: 「自営・家族従業等」には、「自ら起業・自営業」、「自営の家族従事者」を含む。

注2: 「契約・派遣等」には、「有期契約社員、嘱託社員」、「派遣社員」を含む。

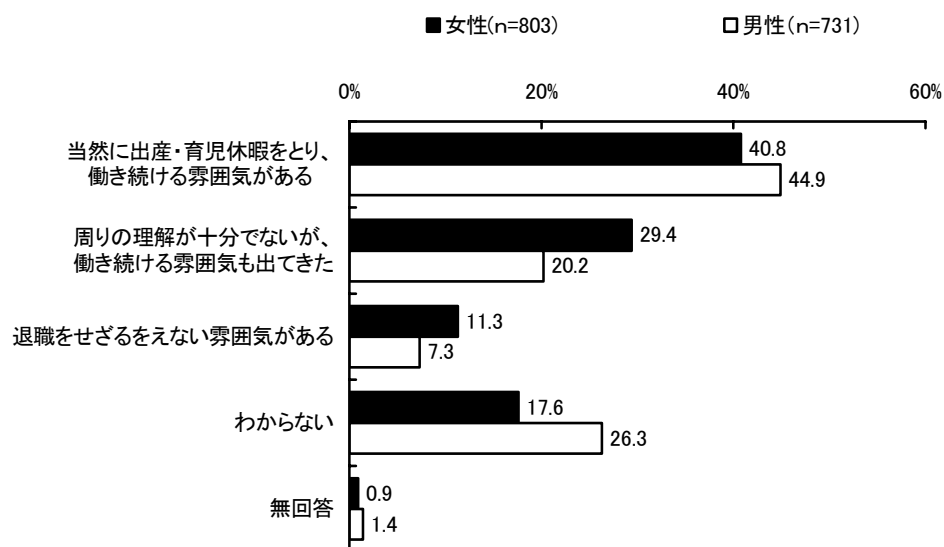
注3: 調査対象は、30代～40代の女性。

資料: 内閣府「女性のライフプランニング支援に関する調査報告書」平成19年

## 5 妊娠・出産した場合の職場の雰囲気

「当然に出産・育児休暇をとり、働き続ける雰囲気がある」が男女ともに最も多いが、女性の11.3%、男性の7.3%は「退職せざるを得ない雰囲気がある」と回答している。

図表 I - 2 - 6 妊娠出産した場合の職場の雰囲気（複数回答）（都）



資料：東京都産業労働局「平成17年度東京都男女雇用平等参画状況調査結果報告書」